



平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 株式会社 日新 上場取引所 東証第一部、大証第一部
 コード番号 9066 URL <http://www.nissin-tw.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 筒井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 坂口 法久 TEL (03)3238-6631
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第3四半期	120,855 (△25.9)	187 (△95.1)	396 (△89.7)	△212 —
21年3月期第3四半期	163,148 —	3,792 —	3,846 —	2,333 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2. 13	—
21年3月期第3四半期	23. 34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	99,816	36,214	35.8	357. 38
21年3月期	89,987	36,148	39.6	356. 87

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 35,724百万円 21年3月期 35,675百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4. 00	—	4. 00	8. 00
22年3月期	—	3. 50	—		
22年3月期(予想)				3. 50	7. 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	164,900 (△16.7)	1,100 (△68.8)	1,000 (△71.3)	200 (△86.8)	2. 00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- 〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年3月期第3四半期	101,363,846株	21年3月期	101,363,846株
-------------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

22年3月期第3四半期	1,402,587株	21年3月期	1,396,020株
-------------	------------	--------	------------

- ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）

22年3月期第3四半期	99,963,660株	21年3月期第3四半期	99,977,150株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当期の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の経済対策効果もあり中国やアジア諸国などで回復傾向となりましたが、米欧では力強さに欠けるものとなりました。日本でも、生産や輸出に持ち直しの動きがあるものの、設備投資は底ばいが続くなど景気の下振れ懸念は払拭されず、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当第3四半期における当社グループは、グローバル・ネットワークの活用によるグループ一体となった国際物流事業の積極的展開により、グローバルロジスティクスサービスプロバイダーとしての取組みを推進する一方、当社グループにおける港湾運送事業の再編強化を進めるなど、グループ一丸となったコスト管理の徹底、収益力の強化を進めました。

海外では、インド・ベトナムなど重点戦略地域での事業基盤の強化を進め、国内においては平成21年11月に鶴見倉庫株式会社を買収し危険品物流の深耕・強化に努める一方、環境にも配慮した鉄道輸送の提案や所有土地の有効活用などにも取組みました。

これらの結果、当第3四半期における当社グループの売上高は42,112百万円となりました。利益につきましては、営業利益は第1四半期では営業損失となりましたが、第2四半期に入り黒字転換、当第3四半期では563百万円となり、経常利益につきましても622百万円、四半期純利益は248百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期比25.9%減の120,855百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期比95.1%減の187百万円、経常利益は前年同期比89.7%減の396百万円となり、四半期純利益は212百万円の損失となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績

① 国際物流事業

海上貨物事業では、輸出は主力の自動車関連貨物が底打ちとなり、輸入も第3四半期に入りクリスマス商戦による雑貨の取扱い増加など、同業者間の競争激化はあるものの回復基調となりました。航空貨物事業でも、輸出で自動車部品や電子部品などの取扱いの回復が顕著となり、輸入もアパレル・食品など堅調に推移しましたが、仕入れ運賃の高騰が続く一方で価格転嫁は進まず、収益面では厳しい状況が続きました。

この結果、連結売上高は68,258百万円、連結営業利益は1,976百万円となりました。

② 国内物流事業

自動車運送事業は、石油輸送が繁忙期を迎え、潤滑油輸送業務でスポット業務の取扱いなどもあり堅調な動きとなり、倉庫事業ではチーズ等食品の取扱いが底堅く推移しました。

この結果、連結売上高は25,562百万円、連結営業利益は623百万円となりました。

③ 旅行業及びその他の事業

旅行業及びその他の事業では、旅行業において、新型インフルエンザの影響や企業の出張の抑制が続く、主力の業務渡航が低調となりました。

この結果、連結売上高は27,034百万円、連結営業利益は78百万円となりました。

(3) 所在地別セグメントの業績

① 日本

海上貨物事業では、輸出は主力の北米向け自動車および関連貨物の荷動きが底打ちとなり、輸入についても食品などの取扱いが堅調となりました。航空貨物事業では、輸出は中国・東南アジア向け電子部品や自動車部品の取扱いの回復基調が続き、輸入につきましても医薬品など堅調に推移しました。

この結果、連結売上高は106,596百万円、連結営業利益は196百万円となりました。

② 北米

北米では、主力の自動車関連品の取扱いに大きな回復が見られず、テレビなどのデジタル家電も市況低迷により取扱量が減少となるなど、低迷が続きました。

この結果、連結売上高は5,229百万円、連結営業損失は65百万円となりました。

③ その他の地域

欧州では、ソーラーパネルの取扱いが堅調となるなど回復の兆しもあるものの、フォーワーディング事業の低迷が続き厳しい状況での推移となりました。中国・東南アジアにおきましては、航空貨物の取扱いに持ち直しの動きが見られるなど、荷動きは底堅く推移しました。

この結果、連結売上高は9,030百万円、連結営業利益は32百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、株式市場価額の上昇による投資有価証券の増加、リース契約による有形固定資産の取得などにより、前連結会計年度末に比べ9,828百万円増加の99,816百万円となりました。

負債は、リース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ9,763百万円増加の63,602百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上および配当金の支払いなどにより利益剰余金が減少しましたが、株式市場価額の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ65百万円増加の36,214百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費および仕入債務の増加などによる資金増加に対し、売上債権の増加などによる資金減少を控除した結果、1,893百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式および固定資産の取得などにより4,228百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより618百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ2,865百万円減少し、10,483百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月 6 日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 3 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

一部の連結子会社は、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,095	13,272
受取手形及び売掛金	24,514	23,624
有価証券	87	151
原材料及び貯蔵品	36	56
その他	3,307	3,936
貸倒引当金	△257	△222
流動資産合計	38,784	40,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,047	41,187
減価償却累計額	△27,753	△26,463
建物及び構築物 (純額)	22,293	14,724
機械装置及び運搬具	9,224	9,063
減価償却累計額	△7,774	△7,584
機械装置及び運搬具 (純額)	1,449	1,479
土地	11,922	11,890
その他	3,764	3,456
減価償却累計額	△2,694	△2,411
その他 (純額)	1,069	1,044
有形固定資産合計	36,735	29,139
無形固定資産		
その他	4,153	4,260
無形固定資産合計	4,153	4,260
投資その他の資産		
投資有価証券	15,691	11,869
その他	4,950	4,426
貸倒引当金	△500	△527
投資その他の資産合計	20,141	15,768
固定資産合計	61,031	49,167
資産合計	99,816	89,987

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,599	12,860
短期借入金	15,086	13,239
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	202	261
賞与引当金	670	1,482
その他	5,545	5,500
流動負債合計	35,204	33,444
固定負債		
社債	850	900
長期借入金	12,719	14,155
退職給付引当金	1,743	1,816
役員退職慰労引当金	107	121
その他	12,977	3,400
固定負債合計	28,397	20,394
負債合計	63,602	53,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,380	4,380
利益剰余金	24,629	25,593
自己株式	△313	△312
株主資本合計	34,793	35,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,799	1,935
繰延ヘッジ損益	△13	△12
為替換算調整勘定	△1,855	△2,005
評価・換算差額等合計	930	△83
少数株主持分	490	473
純資産合計	36,214	36,148
負債純資産合計	99,816	89,987

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	163,148	120,855
売上原価	140,400	104,665
売上総利益	22,747	16,190
販売費及び一般管理費	18,955	16,003
営業利益	3,792	187
営業外収益		
受取利息	58	34
受取配当金	314	231
持分法による投資利益	191	145
為替差益	—	110
その他	258	173
営業外収益合計	824	695
営業外費用		
支払利息	426	435
為替差損	271	—
その他	73	50
営業外費用合計	770	486
経常利益	3,846	396
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29
固定資産売却益	10	14
特別利益合計	10	44
特別損失		
投資有価証券評価損	263	208
固定資産除却損	72	76
減損損失	—	31
特別損失合計	335	316
税金等調整前四半期純利益	3,522	124
法人税、住民税及び事業税	895	186
法人税等調整額	266	130
法人税等合計	1,161	317
少数株主利益	27	19
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,333	△212

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3, 522	124
減価償却費	1, 968	2, 393
減損損失	—	31
のれん償却額	183	0
固定資産売却損益 (△は益)	△10	△14
固定資産除却損	72	76
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△29
投資有価証券評価損益 (△は益)	263	208
持分法による投資損益 (△は益)	△191	△145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	△14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△247	△92
受取利息及び受取配当金	△373	△265
支払利息	426	435
売上債権の増減額 (△は増加)	3, 429	△787
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△399	61
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2, 522	668
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	53	225
その他	△718	△812
小計	5, 438	2, 066
利息及び配当金の受取額	431	327
利息の支払額	△358	△397
法人税等の支払額	△1, 270	△102
営業活動によるキャッシュ・フロー	4, 240	1, 893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1, 158	△747
有形固定資産の売却による収入	33	24
無形固定資産の取得による支出	△640	△278
投資有価証券の取得による支出	△244	△96
投資有価証券の売却による収入	4	90
関係会社株式の取得による支出	△168	△2, 500
貸付けによる支出	△138	△356
貸付金の回収による収入	38	149
その他	13	△513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2, 260	△4, 228

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,726	2,797
短期借入金の返済による支出	△986	△763
長期借入れによる収入	700	1,507
長期借入金の返済による支出	△2,639	△3,137
社債の発行による収入	500	—
社債の償還による支出	△550	△50
配当金の支払額	△752	△750
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△207
その他	△60	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,062	△618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△255	87
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	663	△2,865
現金及び現金同等物の期首残高	11,865	13,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,528	10,483

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)

	国内物流事業 (百万円)	国際物流事業 (百万円)	旅行業及び その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	28,468	95,138	39,542	163,148	—	163,148
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,456	497	261	3,215	(3,215)	—
計	30,924	95,635	39,803	166,363	(3,215)	163,148
営業利益	1,236	5,039	499	6,775	(2,982)	3,792

(注) 1. 事業区分は、役務の種類・類似性を考慮して国内物流事業、国際物流事業、旅行業及びその他の事業に区分しております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 国内物流事業・・・自動車運送、倉庫、構内作業他
- (2) 国際物流事業・・・国際一貫輸送、港湾運送、航空貨物輸送、海外物流他
- (3) 旅行業及びその他の事業・・・旅行業、不動産業他

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)

	国内物流事業 (百万円)	国際物流事業 (百万円)	旅行業及び その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,562	68,258	27,034	120,855	—	120,855
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,006	437	264	2,708	(2,708)	—
計	27,569	68,696	27,299	123,564	(2,708)	120,855
営業利益	623	1,976	78	2,678	(2,490)	187

(注) 1. 事業区分は、役務の種類・類似性を考慮して国内物流事業、国際物流事業、旅行業及びその他の事業に区分しております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 国内物流事業・・・自動車運送、倉庫、構内作業他
- (2) 国際物流事業・・・国際一貫輸送、港湾運送、航空貨物輸送、海外物流他
- (3) 旅行業及びその他の事業・・・旅行業、不動産業他

【所在地別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	139,153	8,952	15,042	163,148	—	163,148
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,452	620	1,778	4,851	(4,851)	—
計	141,606	9,573	16,820	168,000	(4,851)	163,148
営業利益	2,566	370	821	3,757	34	3,792

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の各区分に属する主な国又は地域
(1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
(2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	106,596	5,229	9,030	120,855	—	120,855
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,322	323	603	2,249	(2,249)	—
計	107,918	5,552	9,633	123,105	(2,249)	120,855
営業利益又は営業損失(△)	196	△65	32	162	24	187

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の各区分に属する主な国又は地域
(1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
(2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他

【海外売上高】

前第 3 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	11,559	22,417	33,977
II 連結売上高 (百万円)	—	—	163,148
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.09	13.74	20.83

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
 (2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く。)

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	6,130	14,633	20,763
II 連結売上高 (百万円)	—	—	120,855
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.07	12.11	17.18

- (注) 1. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・米国、カナダ、メキシコ
 (2) その他の地域・・・中国、タイ、マレーシア、ドイツ、英国他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 (ただし、連結会社間の内部売上高を除く。)

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。